

次号の折り込みは5月1日(火)

〈舞鶴市ホームページ〉 http://www.city.maizuru.kyoto.jp/ 済的困窮や居所不明などの率を維持していますが、経ては毎年、97%程度の徴収

進めており、

市税や負担金、

上ることが分かりました。

(平成22年度末時点) に

適正化に向けた取り組みを 維持するため、債権管理の

市では、健全な財政運営を

の合計が16億8,800万代からの約40年間で未収金

していきます。

また、債権管理のさらな

透・定着

談に応じるなど適切に対応

ジェクトチーム(仮称)

債権管理のさらなる適正化

徴収体制の強化

実施しました。現年分とし 使用料などの債権の調査を

公平・公正性の確保や歳入

市としては、市民負担の

0)

確保を図るため、今後、

制定の検討債権管理に関 ●債権の管理に関する条例 取り組みを進めていきます。 る適正化を図るため、

進行管理などを行う「舞

鶴市債権管理連絡会議

み理

由による未収金が毎年積

徹底など毅然とした態度で 未収金に対して徴収事務の

経済的に困窮し

るべき措置、

的な事務

詳しくは、企画政策課

理の基準などを定めた条

や滞納者の状態に応じて取

称)」を設置

する市の責務、

債権の内容

昭和

ておられる方へは、

ホームページ は下の QRコ

▼QRコード

地区の赤れんが倉庫群(左下)市グルメ交流会(左上)、北吸 ル(赤れんがアート&クラフ赤れんがアートフェスティバ トフェスタ) 右、 旧軍港4

> 市民主体の取り組み、花開く 人と文化がともに育つま る市町村として、平成23年 進めています。その成果が実りこのたび、 化資源を活用し、舞鶴らしい「文化を生か 文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門) したまちづくり」を市民の皆さんとともに 用したまちづくりを進め 市では、先人が築き上げてきた豊富な文 資源や文化、 (文化芸

市民によるまちづくりを評価 がテーマのアー

トプロジェクト、英海・港・船がテーコ する食文化を生かしたまち づくりなど、市民が主体と である肉じゃがをはじめと 発祥の地

が府内で初めて受賞するこ

術創造都市部門)を舞鶴市

とが決まりました。

度文化庁長官表彰

旧軍港4市グルメ交流会

なって行政との協働により

岡県)の4市です。 舞鶴市、仙北市 (秋田県) 鶴岡市 (山形県)、浜松市 舞鶴の魅力を発信し続けて いることが評価されたもの。 23年度に受賞するのは、

表彰状授与式、 4月23日、市政記念館で 講演会を開催

文化庁長官表彰の表彰状授4月23日(月)、舞鶴市の 演会を開催。参加者を募集 誠一・文化庁長官による講 与式 (文化庁主催) と近藤 ●場所 生と文化芸術の役割」と題 ●講演内容 「(仮題) 17時30分~18時30分**講演会:** 市政記念館

ーク」など赤れんがを生か点となる「舞鶴赤れんがパ

じめ、今年5月にオープン

フトフェスタ」の開催をは

や「赤れんがアート&クラ

「赤れんがサマージャズ」

予定の文化創造の新たな拠

が文化振興施策を展開する

したまちづくりのほか、市

ために市民と行政が議論す

るワークショ

◆ 時 間

◈表彰状授与式…

します。無料。

ち位置と将来における文化 の可能性などについて講演。 し、世界における日本の立

●定員 先着100人 ●申し込み方法 金)12時までに電話で文化
□申し込み方法 4月20日

●事務処理および体制の

例の制定を検討

捉・管理

◇滞納の未然防

□◎債権管理適正化プロ

参加者

日本再 昨年11月か 同 ワ ー

市が目指す き内容につ 方向性や指 課題などを整理したうえで、 子をとりま 市では、 文化をとりまく現状や とめたものです。 針に盛り込むべ べき文化振興の ら計6回にわた

今後、骨子をも いて議論し、骨 ちづくり⑤舞鶴らしさを感

(文化振興課)

之氏

方策の検討や取り組みの適正化を推進するための
値権管理の

任期は4年間



けで任 しました。昨年 頭満了と ▲佐藤裕之教育長 佐藤氏は、

12月26日付2 育長に任命: 市教育委 と佐藤裕之氏を教委員会では、4月 員会では、 輸となり、市教育委員会学校表などを歴任。平成28年3月31日までの4年間。 で務めていました。任期はを務めていました。任期はを務めていました。任期はを務めていました。任期はでは、第1日までの4年間。 後任として任命したもの。 なった水谷昭・ 市教育委員会学は、昭和51年に教 前 教育

与式と文化庁長官による講演会を開催しま

の受賞が決定。4月23日

月)、

表彰状授

後、指針の策定を進めていきます。 プから文化振興指針の骨子が提出され、 す。また、文化のまちづくりワークショッ

平成 24 年度版・市役所ガイド (A4判、8分) を作成。4月 25日(水)の新聞折り込みでお 届けします(希望者には無料で 送付)。福祉やごみ、税金など市 の窓口 (電話番号) や各課の業 務内容のほか、市内の主な施設、 災害時の避難場所を紹介した地 図を掲載。広報広聴課、情報公 開コーナー、西支所、加佐分室 などでも配布します。

詳しくは、同課(☎66・1041)へ

文化振 興指針の策定に向け プから骨子

から、 向けた骨子 めの文化振 まちづくり」を推進するた くりワークショップ (15人)」 3 月 29 日、 市に が提出されまし おいて「文化の 興指針の策定に 「文化のまちづ を得て策定します。 とに、文化を生かしたまち づくりの指針を市民の協 骨子の概要は次のとおり。

力

ショップでは、 に思い、 化を楽しみ、創造に参加で 文化都市 舞鶴 きるまち 舞鶴②まちを誇り 《理念》①すべての市民が文 愛着を感じられる

《文化振興の柱》①文化に参 文化でつながる④文化のま 加する②文化を創造する③ じる⑥文化を育むしくみを

編集·広報広聴課 (☎ 66·1041、M 62·7951) 発行・舞鶴市(〒 625-8555 京都府舞鶴市字北吸 1044、☎ 62・2300)